

カリキュラム

B.生涯キャリア形成	後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割
------------	-------------------------------

コースのねらい	中堅・ベテラン従業員がこれまで培った経験を活かした後輩従業員を指導するためのコーチング法の知識と技能を習得し、職場の課題解決に向けた先導的役割を理解する。
---------	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1 職場の課題	(1)コースの狙い【講義とグループワーク】 ・コースの狙いの再確認と全容の理解 ～組織の生産性向上と中堅・ベテラン社員の大きな貢献～ ・職場の現状把握と問題点の洗い出し【グループワーク】	1.0
	2 求められる役割	(1)企業活動の流れと組織活動【講義】 職場の現状把握と問題点の洗い出しを踏まえ、本質である 企業活動の流れと組織活動 とは何か (2)職場の課題と解決のプロセスを理解する【講義】 自身の役割を見つめながら、 課題設定の仕方とその解決の手法(プロセス) を学ぶ ・「中堅・ベテラン社員としての機能的役割とは」【グループワーク】	1.0 1.0
	3 ティーチングを活用した指導法	(1)ティーチングの目的・心構えを学ぶ【演習】 ・ティーチングの特徴 指導対話実践【ミニロールプレイング】 ティーチングの留意点 「相手は知らなくて当たり前」ということを忘れない まずは、やって見せその後、やり方をしっかりと教える すぐにうまく出来なくても、いらいらしない 小さいことでもほめることが大事	1.5
	4 コーチングを活用した指導法	(1)コーチングの目的・心構えを学ぶ【講義】 ・コーチングの特徴 コーチングの留意点 「答えは相手の中にある」との意識で対話する 「教えるのではなく、気づかせる」ことを主とする このままいったらどうなるかを考えさせる まとめ(メンバー指導育成のポイント) (2)成果向上のための成長課題 ①今回の訓練での 気づきや学びを「成長課題」として整理する ②「成長課題」の個人発表を行い、現場実践を決意する	1.0 0.5
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
中堅・ベテラン社員としての組織での立ち位置や役割を学びます。ティーチングやコーチングの手法を演習を中心に修得し、自身の培った経験を活かして職場の課題解決や生産性向上に貢献する人材づくりにつなげます。

講師から一言
中堅・ベテラン社員の企業組織への影響力をあなどるなかれ！パフォーマンスを発揮できる環境やスキルを今一度確認しましょう。「おお！自分の経験が生きるじゃないか！組織に伝えたい！」日々のそんな瞬間を現実につなげましょう！